

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	たんぼぼ保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成20年3月18日

総 評	<p>昭和55年4月宮津市惣に開設された、たんぼぼ保育園は、海や山など自然に恵まれており、四季の移り変わりを肌で感じることができる環境にあります。</p> <p>以前は園の周辺は田や畑でしたが、近年、住宅が建ち人口が増えています。また、核家族化が進み、共働き世帯も多いため入園希望者も増えてきています。</p> <p>保育理念(今を生きる子ども達が安心して生活できること、そして、一人ひとりの限りない可能性を引き出し、よりよく導くこと、いろいろな体験を通してのびのびと過ごし、「生きる力」を身につけることをめざす)の下、子ども達の豊かな成長を願い、保護者と連携を保ちながら保育者も研鑽し、生き生きとした保育を実践されています。</p>
特に良かった点(※)	<p>○健康管理・食事 創立以来、子どもの健康を考え食事では旬のもの、地元の野菜・果物を使用し、無農薬・無添加の食材等をできるだけ利用するなど、安心・安全に気を配っています。子どものおやつは毎日手作りで作られており、長時間保育の園児に対して補食を提供しています。</p> <p>○保育環境 季節の草花などを保育室や子どものテーブルに飾るなど、子ども達の季節に対する関心を引き出したり、保育環境に対しての気配りがみられます。</p> <p>○保育内容 路線バスや電車を利用したり、近くのスーパーでの買い物体験など園児に地域での社会体験の場を作っています。</p>
特に改善が望まれる点(※)	<p>○発達援助の基本 保護者や地域へのアンケート調査を活用し、今後の保育や行事への取り組みへ活かすとなおよいでしょう。</p> <p>○保育内容 子どもが自発的に活動できる環境にありますが、コーナーを更に整備するとなおよいでしょう。</p> <p>○一時保育 一時保育が多く利用されていますが、一時保育独自の記録がないため、必要書類等の見直しが望まれます。</p>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【共通評価基準】

評価結果対比シート

受診施設名	たんぼぼ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年3月18日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	① 理念が明文化されている。	A	A
		② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 理念、基本方針が周知されている。	① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A	A
		② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。	非該当	非該当
		② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A	A
	I-2-(2) 計画が適切に策定されている。	① 計画の策定が組織的に行われている。	A	A
		② 計画が職員や利用者に周知されている。	A	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

【自由記述欄】

- ・保育理念・基本方針ともにわかりやすく明文化され、職員・保護者に周知されています。今後、園独自の地域への周知方法として配布物やホームページの作成などを検討し、園の取り組みとして「食へのこだわり」等広く周知されるとなおいでしょう。
- ・保育理念・基本方針の実現に向けたビジョンを明確にして、組織体制・設備整備・職員体制・人材育成等の現状分析を行い、取り組むべき課題や問題点を明らかにし、事業計画を組織的に策定し、職員や保護者に周知されています。
- ・保育園運営全般において、管理者のリーダーシップが発揮されていることが伺えました。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
		② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	非該当	非該当
		③ 外部監査が実施されている。	非該当	非該当
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B
② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。		A	A	
II-3 安全管理	II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。	① 緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A	A
		② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A	A
・保育理念・基本方針ともわかりやすく明文化され、職員・保護者に周知されています。今後、園独自の地域への周知方法として配布物や	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者や地域とのかかわりを大切にしている。	A	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	B
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A
		② 関係機関等との連携が適切に行われている。	A	A
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。	① 地域の福祉ニーズを把握している。	A	B
② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。		A	A	

【自由記述欄】

- ・事業経営をとりまく環境を把握し、各年度の事業計画に反映しています。
- ・人材確保・養成について、人事考課の目的や効果を理解して定期的実施し、個別面談等で評価し得意分野の強化・不得意分野の改善を図るなど、職員の育成や教育に生かしています。今後、必要に応じてカウンセラーや専門家との連携を可能とし、メンタルケアの体制が整備されると尚良いでしょう。
- ・実習生の受け入れについては、「職場体験・実習生受け入れマニュアル」を定め、受け入れを明確にしていますが、実習指導者に対する研修の実施が望まれます。
- ・安全管理についてマニュアルを整備し、安全・衛生委員会を設け、AEDを設置するなど、利用者に対しての事故防止・安全対策に積極的な取り組みをしています。事故防止のためのチェックリスト等の整備をされると、尚良いでしょう。
- ・子育て相談事業等保育園の有する各種情報、機能等を地域に還元すれば、さらに充実した地域の子育て支援センターとしての役割を果たすことになるでしょう。
- ・保育園の発足以来、利用者や地域とのかかわりを大切に、現在に至っていることが伺えました。今後、地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動が実施されると尚良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	A	A	
		② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A	
	Ⅲ-1-(2) 利用者の満足度の向上に努めている。	① 利用者満足の向上に意図した仕組みを整備している。	A	A	
		② 利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	A	A	
	Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A	B	
		② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A	
		③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A	
	Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A	A
			② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	A	A
③ 課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。			A	A	
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		① 個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A	A	
		② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A	A	
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	A	B	
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A	
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A	
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B	B
	② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。		A	A	
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	A	A	
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定	Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	A	A	
		② 利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	A	A	
	Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	① サービス実施計画を適切に策定している。	A	A	
		② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	A	A	

【自由記述欄】

- ・懇談会・試食会・家庭訪問・保育参観等を実施し、保護者の意向を傾聴し、職員会議等において、保育サービスの質の向上について分析・検討し改善がされるなど、利用者ニーズに応えようとする姿勢が伺えました。更にアンケート調査等を実施し、質の向上に役立てることが望めます。
- ・保護者や子どもたちを最大限に尊重した取り組みが随所に見受けられます。
- ・利用者に関するサービスの実施状況の記録において、一時保育の記録面で、必要書類等の見直しが望めます。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【付加基準】 評価結果対比シート 保育所

受診施設名	たんぼぼ保育園
施設種別	保育所
評価機関名	社団法人 京都府保育協会
訪問調査日	平成20年3月18日

【付加基準】保育所版 評価結果対比シート

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(1) 発達援助の基本	① 保育計画が保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている	A	B
		② 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している	A	A
	(2) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	B
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	非該当	非該当
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A

【自由記述欄】

・父母の会や地域との納涼大会など、地域とのつながりを考えて計画していますが、実際に各種の保育園行事終了後のアンケート調査を実施していません。保育行事の見直し、また、保育計画の作成においての新たな進展のため、保護者や地域の声聞き作成に活かすといった取り組みが望まれます。

・歯科健診については、嘱託医のもとで行い健康票にも記載し、保護者や職員も周知・認識はできていますが、治療を要する子どもに対しては、健診結果のお知らせだけで終わらず、治療経過の確認がとれると年一回の健診が活かせるでしょう。

・食に関しては、無農薬・無添加の食材等を使用し、おやつは、毎日手作りのものが用意されています。体験クッキングの指導や試食会、また、普段の保育の中で子ども達の食事の様子などをビデオに収め、保護者懇談会等で紹介するなどの取り組みを行い、保護者に好評を得ています。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助	(3) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	(4) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-1 子どもの発達援助		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	B
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

- ・子どもが自発的に活動できるための環境があり、十分に楽しんで遊んでいる姿を見受けられました。コーナーの整備等さらに保育室の工夫をすると、なおよい保育環境となるでしょう。
- ・乳児保育の環境としては十分に機能していますが、SIDS(乳幼児突然死症候群)に気をつけて確認しているものの、その記録が書面にて行われていないため、万一の緊急の場合に備えて対応できるような体制をとられるようにすると良いでしょう。
- ・長時間保育にも栄養を考え、補食が長時間保育の全園児に出ています。補食のメニューを前もって、献立表にて長時間保育の保護者へお知らせすると尚良いでしょう。

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	(1)入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
	(2)一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	B
	A-3 安全・事故防止	(1)安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A
② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている			A	A
③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている			非該当	非該当
④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当
⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている			非該当	非該当

【自由記述欄】

- ・一時保育の保育室は設けていないが、申し込みがあった場合は年齢に応じた保育室で受け入れをし、一時保育担当者が保育にあたっています。今一度必要書類等を整備し、一時保育に対してより適切な対応が望まれます。
- ・調理場、水周り、食中毒等においてはマニュアル等が整備され、衛生面には特に気をつけて実施されています。